

「荻窪消防団における新たな消防団点検」について

1 趣旨

発生が危惧される首都直下型地震に対応していくため、消防団の災害活動能力や経験値を高めていく必要があります。

従前、杉並区消防団合同点検として荻窪消防団と杉並消防団が合同で点検を行っていましたが、本年度は、従前の枠組みに捉われずに荻窪消防団の実戦性を高める「新たな消防団点検」を試行することになったものです。

2 新たな消防団点検

(1) 新たな消防団点検実施日

令和 8 年 10 月 10 日（土）① 10:00～11:30

② 13:00～14:30

③ 15:00～16:30

- ・ 3 部構成により実施します。
- ・ 各時間帯には、2 個分団又は 3 個分団が参加します。

予備日 同年 10 月 17 日（土） 時間は同上

【訓練想定】

「新たな消防団点検」では、震災を想定し、団本部からの出場命令を分団本部が受け、次の震災時の消防活動を実施する予定です。

ア 団本部からの出場命令を分団長が受信し、団員に出場を命令する。

イ 消火班は、防火服を着装し、防火水槽から揚水してホースを延長し、2 線で建物を包囲する。分団長は、無線により、包囲完了と延焼状況を団本部に報告する。

ウ 救助班は、倒壊建物の救助活動を行う。簡易救助器具を活用し救出、無線報告して想定終了する。

(2) 事前教養（座学）、事前訓練（部分訓練、総合訓練）

ア 事前教養（座学） ※本署防災教室で行います。

8 月 1 日～8 月 23 日の土曜日及び日曜日（各日とも 9 時～12 時）

イ 事前訓練（部分訓練） ※各署所で訓練（各分団 1 回以上実施）を行います。

8 月 29 日～9 月 13 日の土曜日及び日曜日（各日とも午後）

※ 水利部署訓練、揚水・放水訓練、救助資器材の取扱訓練 等

ウ 事前訓練（総合訓練） ※本署で訓練（各分団 1 回実施）を行います。

9 月 19 日～10 月 4 日の土曜日及び日曜日（各日とも午後）

※ 訓練想定に即した一連の活動

3 その他

(1) 本取組を通じて震災を想定した実戦的な消防活動訓練を行い、特定の消防団員だけではない、団員個々の経験値を向上させ、消防団員の主体性・自立性の向上に繋げていきます。併せて、消防団員の安全管理能力の向上も図っていきます。

(2) 毎月の分団活動に合わせて、団本部（署隊）と行う M C A 無線の通信訓練の定着化も図っていきます。

[教養資料]令和8年度新たな消防団点検（試行）

令和8年8月1日版

Q：新たな消防団点検とは？

A：従前、杉並区消防団合同点検として、荻窪消防団と杉並消防団が合同で点検を行っていましたが、本年度から新たな消防団点検として、従前の枠組み（検閲、訓練披露、祝辞など）に捉われずに荻窪消防団が独自に、より実戦的な訓練等を実施するものです。

Q：どういう目的があるの？

A：各区の消防団運営委員会から、実戦的な訓練の推進及び消防団行事の見直しや負担軽減について答申されており、今後、発生が危惧される首都直下地震に対応していくためには、消防団の災害活動力を更に高めていく必要があります。首都直下地震では同時多発的に火災が発生すると想定されており、それら被害を軽減するためには、消防署隊と連携した活動はもちろんのこと、消防団が単独でも主体的に活動していくことが重要です。

震災時の活動について



1995.1.17 阪神淡路大震災より

- (6) 延焼阻止線の設定
- (7) 飛火警戒
- (8) 火災以外の事象に対する支援活動 等

同時に火災が発生すると、混乱の中での活動となりますので、分団本部への連絡を徹底し、団本部の下命により活動します。

- (1) 出場
- (2) 出場途上
- (3) 活動要領
- (4) 水利部署
- (5) 放水

（任務班別）消火班員の実務
消防団員ハンドブックP313



建物構造別の安全管理

- 1 木造建物火災
崩壊、落下危険。延焼拡大が早い。火勢が強い。飛火危険。
- 2 防火造建物火災
特性は木造建物とほぼ同じ。燃焼に関しては、比較的緩慢と言えるが、フラッシュオーバー、バックドラフト等により火災が一気に拡大することがある。
- 3 耐火造建物火災
実態把握に時間がかかる。濃煙、熱気が充満する。高温の室内に注水すると吹き返しが起きる。フラッシュオーバー、バックドラフト等が発生する危険がある。

第5章 安全管理
消防団員ハンドブックP195

震災時の火災対応を想定して一連の消防活動訓練を実施します。



安全管理：任務遂行を前提とする積極的行動対策。自らの身を守ることでより多くの命が救われる！ハンドブックP179～

記載の情報は、e-ラーニングで閲覧出来ます。
は消防団員ハンドブックのページを記載。
QRコードは動画へ直接飛ぶことが出来ます。

アクセス方法：URLもしくはQRコードでアクセス
<https://tokyosyobodan.jp/>
ログイン方法：ユーザID及びパスワードの入力

問合せは分団ごと
まとめて事務局まで

e-ラーニング
QRコード



